



大仙市ふるさと探訪楽園ツアー

神岡・西仙北・協和を巡るツアー訪問記

令和3年7月29日（木） 集合場所 かみおか嶽雄館

9:30～ 株式会社和火屋

本日最初の訪問先は”花火のまち大仙市”ならではの見学地、創業明治34年株式会社和火屋さんにて花火工場見学に伺いました。久米川社長が丁寧に行程を説明しながら案内してくださり、実演も交えた力の込めるお話に、参加者の皆さんも興味深く見入っていました。一つ一つ丁寧に作られ並べられた花火玉を見て、職人さん達の気持ちが込もった大輪の花火が大仙市の夜空に大きく花開く日が早く来て戻ってほしい、と心から願いました。



11:00～ 大綱交流館

次に訪問した大綱交流館は昨年10月にオープンした西仙北地域の拠点施設です。大綱ホールで刈和野の大綱引きの紹介動画を鑑賞したあと、館内を見学しました。



11:30～ 大綱の里伝承館

地元刈和野大綱引き保存会の建元からご協力をいただき、綱づくり体験を行いました。二日町と五日町の作業場にそれぞれ分かれ、実際に綱を作りました。初めての方でも作業を進めていくうちにコツをつかんで、長く編むことができました。地域の伝統文化を継承する人と技に触れ合える貴重な体験となりました。



13:20～ 唐松神社

協和地域の唐松神社は安産と子宝の神様として有名で、全国から参拝客が訪れます。参道の両側には樹齢300年を超える杉並木が立ち並び、歴史の深さと厳かな雰囲気圧迫されます。奥殿や天日宮(あまつひのみや)など宮司さんが興味深い説明で案内してくれて、気付くとあっという間に時間が過ぎていました。そして、遠くからは雷鳴が……。宮司さんによると雷が近づいて来ているタイミングの参拝は非常に縁起が良いとのこと。凛としたパワーをたくさん注入して雨が降り出す前に、次の訪問先へ向かいました。



15:15～ 大盛館（民俗資料展示館）

「協和の鉱山と松田解子文学を伝える会」今野会長から荒川鉱山と松田解子について説明していただきました。その後、各自で施設内を見学しました。懐かしの民具や協和地域の歴史など多くの展示物を興味深く見学していました。



15:55～ 荒川鉱山跡地

荒川鉱山は1700年に発見され、明治時代に発展を遂げ栄えた鉱山です。今も残る外壁は高く積み上げられた石垣が城郭や要塞を彷彿させます。閉山後、観光地として整備されたマインロード荒川を知る人達からは、にぎわっていた時代を懐かしむ声が聞かれました。

16:45～ かみおか嶽雄館

かみおか嶽雄館に戻るとだけ丸くんが参加者の皆様のお帰りを迎えてくれました。今回6人の小学生が参加し、元気にツアーを盛り上げてくれました。

「個人ではできない貴重な体験ができた」「地域資源への興味がわいてきた」などのご意見をいただき、広い大仙市内でまだまだ沢山ある地域の魅力を知りきっかけを創出したツアーとなりました。

